



令和2年度  
事業計画(案)

社会福祉法人 容風会  
おきなのだ

## 『おきなのだ 2020応援宣言』 ～ 私たちは、頑張るみんなを応援します！～

東京オリンピック・パラリンピック2020が開催される今年、おきなのだは15周年を迎えます。  
これまで、みなさまからご愛顧いただき、一定の評価を得られるようになったのは、スタッフの日頃の努力と、みなさまのご指導ご鞭撻のおかげであり、深く感謝申し上げます。

オリンピックイヤーの今年は、『おきなのだ 2020応援宣言』をテーマに、それぞれに頑張るみなさんを応援し、感動を共有し、元気で心豊かな年にしていきたいと思えます。

### 《おきなのだ 2020応援宣言》

おきなのだは、自分らしく暮らす住民・利用者・家族のみなさんを応援します。  
おきなのだは、いい介護を目指すスタッフの努力と成長を応援します。  
おきなのだは、支え合う地域のみなさんの生活と活動を応援します。  
おきなのだは、日本に感動を与えてくれる東京オリンピック・パラリンピック2020で活躍する、すべての選手のみなさんを応援します。  
おきなのだは、北九州市民に元気とエネルギーを与えてくれる、ギラヴァンツ北九州を応援します。  
おきなのだは、頑張るすべての人を応援します。

私たちおきなのだスタッフは、福祉に携わる者の本分である「頑張る人を応援する」立ち位置を大切に、より安心安定のサービスを提供してまいりますので、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 容風会  
理事長 金丸 正勝

## 特別養護老人ホーム おきな杜

### 2020スローガン

**自立支援介護を理解・実践し、「いい介護」を目指します。**

#### 〈運営方針〉

2020年度は、住民様が「自分らしく、自分の思うように過ごせること」を大きな目標とします。そのために「思っていることが言え、ご本人にとってあたりまえの生活が継続でき、外出や趣味などを楽しむ」ことができるように支援していきます。住民様の意向や願望が叶えられるように、傾聴技術の向上や知識の習得を行います。住民様にとっての「いい介護」とは何かを考えて行動できるスタッフを育成します。住民様のやりたいことを聞き取り、それを実現するための課題・援助方法についてユニットスタッフ・専門職で協議し、「意欲向上プログラム」を作成して、実現に向けて取り組んでいきます。介護の基本を、「ノーリフティングケア」とし、昨年に引き続き取り組み、全員で技術向上に努めます。自立支援介護について、リーダー会議を中心に学習し、知識を深め、基本介護について学びなおし、おきな杜にどのような介護が必要なのかを検証していきます。

#### そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 自立支援介護を理解し、実践します。

**目標2** ノーリフティングケアや認知症ケア等を学び、介護技術のワンステップアップを目指します。

**目標3** チームワーク向上とキャリアアップを目指します。

#### 〈約束〉

- ① 住民様・ご家族へ今年度やりたいことの聞き取りを行い、目標を設定します。
- ② 目標達成に向けてのプログラムをユニット・専門職で協議して作成します。
- ③ 自立支援介護についての学習会を開催し、必要性や基本ケアの見直しを行っていきます。

#### 〈約束〉

- ① ノーリフティングケアでは技術研修を継続的に行い、技術向上を目指します。
- ② 住民様の生活や能力に合わせたノーリフティングケアを確立し、定着させます。
- ③ ユマニチュドについて、施設内外の学習会や研修会に参加し、住民様との関わり方や接し方を学び、実践します。

#### 〈約束〉

- ① キャリアアップ・スキルアップできる個人目標を設定し実践していきます。
- ② 学習会は全員で参加する意識を持ち、参加したスタッフは責任持って伝達します。
- ③ 施設主催のイベントや集まりに参加し、スタッフ同士の関係構築を行える場に積極的に参加します。

## ショートステイ おきな杜別館

### 2020スローガン

**ご利用者様が心から満足して頂ける、おもてなしの金メダルを目指します。**

#### 〈運営方針〉

2020年度ショートステイおきな杜別館は、原点に立ち返って、利用者様・ご家族様が心から満足して頂けるサービス提供を第一に考えて取り組んでいきます。

ご利用様の身体状況や家庭での様子をしっかり把握し、ご利用者様の不安を除き、家庭と同じような生活が送れるように支援していきます。

ショートステイを利用して日常生活動作が悪化した、精神的に不安定になったなどないように、「おきな杜のショートステイに来てよかった、また、利用したい」と言われるショートステイをスタッフ全員で創り上げていきます。そのためには、スタッフ間のチームワークを強化し、ケアの統一を強化していきます。

在宅介護から施設入居を考えている方への良い体験施設として、ご利用者様やご家族様へのよきアドバイザーとしての役割も強化していきます。

#### そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 満足・笑顔を提供します。

#### 〈約束〉

- ① ショートでしか楽しめない行事やレクリエーションを提供します。
- ② 利用者様・ご家族様のニーズを把握し、実践します。
- ③ 利用者様だけでなく、ご家族様にも介護についての提案・助言を行います。

**目標2** 介護のプロとして”最高の介護”を”笑顔”で提供します。

#### 〈約束〉

- ① ワンチームとしてスタッフ間の結束力を高めます。
- ② 利用者様・ご家族様とコミュニケーションをしっかりととり、常に笑顔を提供します。
- ③ 利用者様の情報共有を、スタッフ間、デイサービス、ケアマネジャーとしっかり行います。

**目標3** 稼働率95%以上を目指します。

#### 〈約束〉

- ① ご家族様との連携を図る目的で、現場スタッフも担当者会議に出席します。
- ② 全スタッフで、利用者様の情報共有を行い、スムーズな受け入れをします。
- ③ 事故ゼロ、病気ゼロ、忘れ物ゼロを目指します。

## おきな杜デイサービス いきがい元気塾

2020スローガン

一人(スタッフ)はみんなの為に。みんなは一人(利用者)の為に。

〈運営方針〉

『帳速』というICT記録システムを導入して一年が経過しました。はじめは大きな戸惑いと混乱からのスタートでしたが、今では当たり前システムを使いこなし、活用することが出来ています。私たちの生活を取り巻く環境はとても速いスピードで変化し、進化しています。介護事業所は、変わりゆく社会の中で、在宅生活を支えるためにどうあるべきか、変化するスピードに追いつきながら進化していく必要があります。超高齢化社会、地域包括ケア、認知症、介護予防・・・団塊の世代の方が後期高齢者となり、サービスを利用される立場になった時、元気塾が担うべき役割は何でしょう。2020年、いままでの元気塾から新しい元気塾へ。元気塾の役割、スタッフのやるべきことを常に問い続けます。同時に一人ひとりの利用者が元気塾に来る理由は何なのか、どんな希望を持っておられるのか。探り、受け止めたいと思います。元気塾は利用者の自己実現や、夢をあきらめません。人間は誰かの役に立っていると感じると、幸福度が高まってオキシシンというhappyホルモンの分泌が促進されるそうです。必要な支援を受けて誰かに喜ばれる役割を作りたい。ご自分の意志で目的をもって行くところ、そんなデイサービス作りをスタッフ一丸となって取り組みます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標  
1 スキルアップ&チーム力アップ

〈約束〉

- ① スタッフそれぞれが資格取得、研修参加の目標を立て実行します。
- ② ユマニチュードの学習会を継続し認知症対応のスキルアップを目指します。
- ③ 毎月の業務改善を通してチームとして働きやすい職場づくりを行います。

目標  
2 自立支援を応援します。

〈約束〉

- ① 利用者が行える、新しい役割を創生します
- ② 男の趣味倶楽部を創設し、男性の楽しみを増やします。
- ③ 興味関心シートの活用などでやりたいこと、ありたい姿を応援します。

目標  
3 新しい元気塾の開発に挑戦します。

〈約束〉

- ① 実施したアプローチを評価して検証します。
- ② デイの取り組みを月刊デイに発表したいと思います。
- ③ 家族会や見学会などを企画しつながりを固めます。

2020スローガン

Challenge The Top! ~スタッフ・ご利用者様 共に挑戦します~

### 〈運営方針〉

2020年、オリンピックイヤーの年に文化村は9年目を迎えます。開業当初から変わらずにご利用を継続していただいている利用者様や最近では文化村の「噂」を聞いてご利用を開始された方など、有難い事にご利用者様より一定の評価をいただき、この8年間やってこれました。文化村スタッフは、ご利用者様・ご家族様・地域の方々・他施設の方々にいつも「応援」をしてもらいながら、日々“いい介護”を各々で目指し取り組んでいます。人は誰も変化というものを嫌い避けて通りますが、いいものを提供し続けるためには、改善・改良が不可欠です。“いい介護”を提供し選ばれるだいサービスであり続けるためにも、日々の発見・気づきを増やし、そこに必要性があれば「変える」勇気も必要なのです。私たち文化村スタッフは、今年を皮切りに10周年を迎えるにあたり、プロジェクトを立ち上げ実践していきます。オリンピックと掛け、ご利用者様一人おひとりを『選手』とし、やりたいこと・挑戦したいこと・夢に向かって毎日目標に向かい頑張っている選手の皆様を文化村は『選手村』として応援をしていくことを誓います。そして、だいサービスの次世代スタンダードモデルを目指します。

### そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 『趣味活動』を応援！  
より多くの選択肢のある環境  
作りを行います。

#### 〈約束〉

- ① 文化村の活動を開拓し、スタッフも一緒に挑戦をします。
- ② 「文化村喫茶」をOPEN！！  
内装をフル活用しておもてなし♪
- ③ 毎月、担当スタッフが月替わりにその月限定企画を考案します。

**目標2** 『楽しく運動』を応援！  
文化村ならではの、機能訓練を提  
案し、オリンピックを文化村でも行  
います。

#### 〈約束〉

- ① リハデイを変化し、新★リハデイと題し  
楽しい体操時間に変えます。
- ② オリンピック日を定期的に開催！  
全員選手で日頃の運動の成果を発揮！
- ③ デイでも自宅でも運動習慣をつけ、  
全員が歩き続けられる体力・筋力作りを  
お手伝いします。

**目標3** 『地域との繋がり』を応援！  
文化村独自のSNSを開設  
し、情報発信を強化します。

#### 〈約束〉

- ① 文化村のスタッフから、SNSを通じ  
文化村を発信します。
- ② 地域にご利用者様のお手製作品を  
出張販売しにいきます。
- ③ 地域の活動や勉強会に文化村  
スタッフが参加し、地域との輪を  
広げていきます。



### 2020スローガン

**”2020 オリンピックイヤー”ARUKUは高齢者のアスリートを育てます！**

#### ＜運営方針＞

「歩きたい！」思いを「歩けた！」の喜びに。OKINA de ARUKUはリハビリ特化型サービスとして平成29年8月にオープンし、今年度で4年目を迎えます。前年度はARUKUトレーニングの作成・実施、体力測定の実施を行い、一人一人に成績表をお渡しすることで「成果の見える化」を心掛けました。今年はオリンピックイヤーということで、ARUKUでも高齢者のアスリートを育てるべく、筋力向上、体力向上を目指してきたいと思います。そのために、自主トレメニューの充実を図ります。今後も機械、起立訓練、コードエクササイズ等の基本的な運動は継続していきながら、ホールの配置、スタッフの配置等を見直し、それぞれの目標に向かって、受け身ではなく自主的に運動に取り組んで頂けるよう環境を整えます。「健全な肉体に健全な精神は宿る」つまり心と体は繋がっています。身体的な向上を目指すには内面的な向上も必要です。自主的に運動に取り組むことで、「出来た」を積み重ね、自己効力感を上げていきます。また、自信とやる気に繋がるよう利用者様を励まし応援し、さらに成果に繋げていきたいと思ひます。

#### そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 高齢者界のアスリートを目指します。

**目標2** アスリートの精神をもって運動に取り組んで頂きます。

**目標3** 1日平均35人を目指します。

#### ＜約束＞

- ① 年に3回、体力測定を実施。筋力向上を定期的に評価します。
- ② 自主トレメニューを作成し、自主的に運動を行える環境を整備し、実施します。
- ③ 栄養面のサポートを行い、筋力づくりに貢献します。

#### ＜約束＞

- ① 一人一人に「目標宣言」をして頂き、「できたらいいな」を「出来る」に変えます。
- ② 「出来た」の積み重ねにより、自信に繋がっていきます。
- ③ 維持・継続のため、自宅での運動をすすめます。

#### ＜約束＞

- ① 利用者様の声を取り入れて、サービスの質の向上を目指します。
- ② 全スタッフで利用者様のやる気をアップさせ、休みたくないARUKUにします。
- ③ 年3回のケアマネジャー参観日の実施とケアマネジャーとのコミュニケーションを密にとりARUKUのファンを増やします。

## 訪問介護ケアメイドインおきな杜

2020スローガン

自分らしく生活できるよう全力で応援します

### 〈運営方針〉

2000年に介護保険制度が始まって今年で節目の20年となります。  
2021年には、3年に1度の制度改正がおこなわれる予定で、大きく自立支援に向けて動き出すことが予想されます。  
多くの高齢者ができる限り住み慣れた家で暮らすことを望んでいますが、訪問介護を支えるヘルパーの高齢化が進んでいます。  
介護ニーズは増えていますが、担い手は減少しているという状況が続き、人材確保も重要課題となっています。  
在宅での生活には、ご本人の頑張りとそれを応援する人が必要で、訪問介護は生活する場所である自宅が活動の場となります。  
からだや暮らしに不安を抱えている利用者の思いに寄り添いながら、ともに生活環境を整えて行きます。  
興味や関心を持つような話題を提供し、利用者の意欲を引き出し前向きな気持ちで、少しでも不安が軽減するよう生きがいを持って  
過ごせるよう応援して行きます。

### そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 利用者の意欲を引き出し、やる気の出る環境づくりを目指します。

#### 〈約束〉

- ① 利用者のADLに適した援助を行います。
- ② 出来る事は見守り、出来ないことを補いながら支援します。
- ③ 利用者が何でも話せる環境をづくり、傾聴を行います。

**目標2** 多職種との連携を深め、利用者の自立支援を目指します。

#### 〈約束〉

- ① 各部署・他事業所との情報の共有を図ります。
- ② 日々の生活の中で、利用者の変化を察知します。
- ③ 多職種からの情報を生かし、利用者の自宅での生活を見守ります。

**目標3** 日常業務の効率化のため情報収集を行います。

#### 〈約束〉

- ① アセスメントをおこない、必要な情報を収集し事務作業の効率化を図ります。
- ② 指示、報告メールでチーム間での情報の共有を図ります。
- ③ 利用者に対して、共通したサービスを行います。



2020スローガン

利用者・家族の『伴走者』となって、頑張るすべての人を応援します！

〈運営方針〉

2020年は東京オリンピック・パラリンピックの年となります。また、2021年は介護保険改正の年です。  
介護保険法が2000年に開始され、今年で20年。「介護保険制度の要」として、ケアマネジャーが誕生し20年となります。  
今、居宅介護支援事業所に求められるもの、真のケアマネジメントとは何かを真摯に正面から向き合う年にしたいと考えます。  
ケアマネジャーの課題として、人材不足、書類や記録の煩雑化が叫ばれ久しいですが、今後はICT化がもっと進むことでしょう。  
ケアマネジャーが本来必要とされる相談援助面接力、コミュニケーション能力に磨きをかけ、利用者・家族の『伴走者』となる事を  
今年度の目標として、私たち自ら頑張ります！頑張るすべての人を応援していきます！

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 利用者・家族の伴走者となります。

〈約束〉

- ① 利用者・家族の思いに寄り添います。
- ② 誰もが抱える不安や課題を共有します。
- ③ 専門職としての知識やアイデアを提案し、不安を安心にかえます。

目標2 自立支援のケアプランを作成します。

〈約束〉

- ① 多くの研修に参加し、自らのスキルアップを図ります。
- ② たくさんの事例を把握し、情報を共有します。
- ③ 自立支援のケアプランを考え、作成し提案します。

目標3 地域に貢献します。

〈約束〉

- ① いつも笑顔で「良き相談相手」となります。
- ② 地域の行事に進んで参加します。
- ③ 地域の課題に取り組みます。

2020スローガン

おきな の 杜 に関わる 全ての 人の サポーター を 目指 します。

＜運営方針＞

2021年度介護保険制度改正では、ICT・IoTや介護ロボットの導入などの業務効率化や働き方改革による職場環境整備、文書の簡素化や電子化の推進等が焦点になります。

昨年度は、就業管理システムを導入し、勤怠管理システムのデジタル化に移行することが出来ました。

今年度は、さらに法人内グループウェア・システムを導入し、迅速な情報共有とスピーディーな連絡交換、書類のデータ化、スケジュール管理をおこない、ペーパーレスや業務の効率化を図ります。

働き方改革では、職員の有給管理や年5日の年次有給休暇の確実な取得確認を効率よく行えるようにするため、有給休暇の一斉付与制度をスタートさせます。

今年の法人テーマ“応援する”を実現するため、私たちはチーム事務局の役割と使命を共有し、個々の専門性を高め、住民様・ご利用者様・ご家族・職員など関わる全ての人をサポートしていきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 各部署の縁の下の力持ちとして臨機応変に対応していきます。

＜約束＞

- ① 事務局を誰でも入りやすい場所になるように雰囲気作りを大事にします。
- ② サービスの提供に支障がないように建物設備や車輛の整備を徹底します。
- ③ 来設される方に必ず声をかけ、防犯を徹底し、エスケープがないように入口を常に確認していきます。

**目標2** 働きやすい職場環境作りを全力でサポートします。

＜約束＞

- ① 4月に全職員に有給一斉付与を実施し、運用・管理を正確に行います。
- ② 積極的にボランティアの受け入れを行いマンパワーの拡充を図ります。
- ③ 学校訪問や多様な求人媒体を活用し、人財確保に取り組みます。

**目標3** ICTを活用し、スピーディかつ正確な情報共有を行える環境を作ります。

＜約束＞

- ① 施設内の情報を地域に発信し、身近な施設であるとアピールします。
- ② スピーディーな情報共有ができるように各部署との連携を図ります。
- ③ グループウェアの導入を行い、全職員が理解し、使いこなせるように環境を整え準備していきます。

## 身体拘束・虐待防止委員会

2020スローガン

人権、尊厳を尊重し、安心・快適に過ごせる時間を提供します

〈運営方針〉

身体拘束・虐待0を今後も継続していきます。そのためには、指針やマニュアルや基礎知識を、全スタッフで共有します。人権、尊厳を尊重し相手に寄り添います。認知症や、身体拘束、虐待についての基礎知識を全スタッフで学び、適切なケアを今後も継続し、利用者様、住民様が一番に安心・快適に過ごせる時間を提供していきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

目標1 身体拘束、虐待0を継続します。

〈約束〉

- ① 指針やマニュアルを共有し、常に更新を行います。
- ② 認知症ケアの知識・手法を活用していきます。
- ③ 認知症利用者の事故防止対策の為の学習会を行います。

目標2 相手を知り、相手に寄り添います。

〈約束〉

- ① アセスメントに力を注ぎ生活習慣や行動に応じた対応を行います。
- ② 症状に対しての認識を深めるため定期的な勉強会を行います。
- ③ ご家族様と連携をはかり相手を思い、おもてなしを常に行います。

目標3 身体拘束・虐待に関する知識を全スタッフで共有します。

〈約束〉

- ① 全スタッフへの学習会を行い、周知徹底を行ないます。
- ② 身体拘束に関する基礎知識を共有します。
- ③ 適切なケアを行います。

## 感染症・食中毒予防対策委員会

### 2020スローガン

施設内の感染症(食中毒を含む)の予防や発生時の感染拡大を防止します。

#### 〈運営方針〉

高齢者は、感染症に対する抵抗力が弱く、高齢者が多数生活する環境は、感染が広がりやすい状況にあります。2020年は、「新型コロナウイルス」が全世界で感染が拡大し、日本でも多くの感染者が出ています。感染症予防対策委員会では、最新の情報収集を行い、早めの対応策を検討し、住民様・利用者様・ご家族・職員へ発信し、感染防止に取り組んでいきます。感染症発生時には、迅速に適切な対応策を提示・実践し、感染拡大防止に努めていきます。

#### そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 衛生管理の学習会を実施し、施設内の衛生管理、保持に努めていきます。

**目標2** 衛生管理の基本である手洗いやノロウイルスによる吐物処理などの実技研修を定期的に行います。

**目標3** 最新の感染症の情報を把握し、予防や早期発見・感染拡大防止に努めていきます。

#### 〈約束〉

- ① 施設内の衛生管理についての学習会を行い、正しい知識を身につけます。
- ② 施設内の衛生管理に必要な物品を選択し、整備・補充をしていきます。
- ③ 各部署、衛生管理に必要な物品があるか、整理整頓、清掃、換気、消毒ができているか検査していきます。

#### 〈約束〉

- ① 「食中毒」、「インフルエンザ」、「ノロウイルス」の学習会を行います。
- ② 衛生管理の基本である「手洗い」の学習会を定期的に行います。
- ③ ノロウイルスの吐物処理の実技研修を全スタッフが参加できるように計画をたてて実践します。

#### 〈約束〉

- ① 感染症・食中毒に関する最新情報を収集し、予防策を立案・実践します。
- ② 住民様の異常の徴候をできるだけ早く発見できるように、注意深く観察します。
- ③ 感染症が発生した場合や流行期は、感染拡大を防止するために、来設者への衛生管理の周知を行います。

## 褥瘡予防対策委員会

2020スローガン

全スタッフ、褥瘡のメカニズムを理解し、褥瘡ゼロを目指します。

### 〈運営方針〉

高齢者は、低栄養状態や活動の低下、疾病に伴い寝たきり状態に陥りやすく、褥瘡が発生するリスクが高いです。褥瘡は予知予防の大きい疾患であり、高齢者の皮膚を観察することが褥瘡を防ぐ第一歩となります。褥瘡予防対策委員会では、褥瘡のメカニズム、発症要因、予防対策（皮膚の清潔、体圧分散、適切なベッドマット・クッションの選択・使用、栄養管理等）を改めて学習しなおし、発症防止に努め、発生時における苦痛の緩和と早期治癒及びケアの提供を適切に行っていきます。個々のスタッフが「褥瘡をつくらない」という意識を持つようにしっかり学習を強化していきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 褥瘡のリスクに高い方を定期的に把握し、個々に応じた対策を考えて実践します。

### 〈約束〉

- ① ブレーデンスケールを活用して褥瘡のリスクの高い方を把握し、予防に努めます。
- ② 多職種で情報共有できるように、記録用紙を作成します。
- ③ 褥瘡が発生した場合は、速やかに多職種で改善策を検討し、褥瘡経過記録表を作成し、経過確認と評価を行います。

**目標2** 褥瘡に関する基礎学習をしっかり行います。

### 〈約束〉

- ① 褥瘡の発生原理を学び、褥瘡についての知識を深めます。
- ② 医療的な処置、栄養学についても学びます。
- ③ 上記の学習会は、数回開催し、多くのスタッフが学べるように学習計画を立てていきます。

**目標3** 体圧分散、除圧についての学習を深めます。

### 〈約束〉

- ① 体圧分散、体位交換、除圧についての学習を行います。
- ② ベッドマット、クッションピローの使い方、効果について学びます。
- ③ 体位交換等の実技研修は、ノーリフティングケア委員会と連携し、全スタッフが参加できるように計画して実践します。

## 排泄オムツ委員会

2020スローガン

住民様の残存機能に応じた、適切な排泄ケアを行い、プライドの復活を目指します。

### 〈運営方針〉

排泄ケアとは、それぞれの住民様の残存機能に応じた排泄のスタイルを見つけ出し、最適なケアを提供するための実践的な活動です。排泄オムツ委員会では、「なぜ、オムツを使わなければならないのか？」その理由をしっかりとアセスメントできるように学習を行います。トイレでの排泄を視野に入れて、排泄リハビリを行い、ベッド上からポータブル、ポータブルからトイレへと段階的に進めるように多職種で考え取り組んでいきます。排泄は、人間の尊厳に関わる重要な課題です。「オムツのない生活」で、心も体も快適になり、住民様・利用者様の「プライドの復活」を考えていきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 排泄マニュアルを作成します。

### 〈約束〉

- ① 統一したケアができるように、見やすくわかりやすいマニュアルを作成します。
- ② パット、オムツの種類や特性がわかる一覧表を作成します。
- ③ スタッフ全員、ケアの統一を図るため、正しいパット・オムツの装着についての実技研修を定期的に行います。

**目標2** 住民様一人ひとりに合わせた排泄ケアを考えて取り組みます。

### 〈約束〉

- ① 住民様の残存機能を把握し、排泄ケアの目標を定めていきます。
- ② パットや排泄の仕方等その人に適しているかデータを基に検討・確認を行います。
- ③ 状態変化があった場合は、多職種で随時アセスメントを行い、改善策を検討していきます。

**目標3** トイレでの排泄を視野に入れ、排泄についての知識と技術を身につけます。

### 〈約束〉

- ① ADLや残存機能に合わせた排泄リハビリについての学習を行います。
- ② ベッド上、トイレでの排泄リハビリを段階別に作成し、実践します。
- ③ 住民様・スタッフの負担軽減に努め、福祉用具の活用や排泄用品の検討を行います。



## おいしい(給食)・口腔ケア委員会

### 2020スローガン

口からおいしく食べる。口腔内を清潔に保ち、健康に暮らす。

#### 〈運営方針〉

2020年度も、安全でおいしい食事を提供するために、食事形態の見直しや食事用具、食事の姿勢などを多職種で見直します。特養の今年度のスローガンは、「自立支援介護を理解する」となっています。自立支援介護では、4つの基本ケア(水分・食事・運動・排泄)が中心となります。おいしい・口腔ケア委員会では、自立支援介護の基本の「水分・食事」について学び・考え、住民様の水分・食事の摂取状況を調査し、現状の把握と課題の抽出を行い、問題点を明確化していきます。口腔ケアについては、実技研修に重点を置き、ケアの統一を行い住民様の口腔内の清潔維持に努めていきます。毎日の食事が楽しくなるような食事の提供を考えます。行事食・イベント食の年間計画をたて、それを基に、おいしい委員会のメンバーで様々な企画・演出を考えていきます。

#### そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 安全な食事を提供します。  
自立支援介護を学び、「水分・食事」について考えます。

**目標2** 口腔ケアの技術を習得して、住民様の口腔内の清潔を維持し、誤嚥性肺炎の予防努めます。

**目標3** 季節に応じた行事食やイベント食を企画し、楽しい食事の提供を行います。

#### 〈約束〉

- ① 住民様に有った食事を提供するため、多職種で食事形態等を見直します。
- ② 低栄養にならないように、多職種で評価し、改善策を考えていきます。
- ③ 住民様の水分・食事の摂取状況を定期的に調査し、現状の把握と課題の抽出を行います。

#### 〈約束〉

- ① なぜ、口腔ケアが重要なのか？口腔ケアについての学習会を行います。
- ② 口腔ケアの手順書を見直し、更新を行います。
- ③ 訪問歯科の方に講師を依頼し、定期的に実技研修を行い、技術を習得します。

#### 〈約束〉

- ① 行事食・イベント食の年間計画を作成します。
- ② 委員会メンバーで、行事食等の演出を考え、盛り上げていきます。
- ③ 献立表の確認を行い、食材や調理法について検討し、安全な食事を考えていきます。

## 事故防止対策委員会

2020スローガン

**防げる事故を無くし、安心・安全を守ります。**

### 〈運営方針〉

利用者様・住民様が安心・安全に過ごせる場所を提供できるように、マニュアル、ヒヤリハットや事故を全スタッフで共有し、同様の事故が起これないように取り組んでまいります。その中でもヒヤリハットについては継続してスタッフの気づきのレベルをあげていき、ただ、提出するだけでなく、各部署で必ず共有、改善を行い、事故につながらないように未然に事故を防いで行きたいと思います。

ケア中の事故だけではなく、車両事故も昨年度の件数を大幅に減らせるように、全スタッフで取り組みます。

一人でも利用者様、住民様の安心・安全を守り、スタッフも一緒に笑顔になれる「おきなのだ」を目指していきます。

また、災害については、火災だけではなく、風水害、その他の災害にも、迅速に対応ができるように、訓練を行っていきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** マニュアルを共有し事故が起きても迅速に対応します。

### 〈約束〉

- ① マニュアルの読み合わせの回数を増やし共有していきます。
- ② あらゆる事故を想定し必要なマニュアルを整備します。
- ③ 事故についても共有し同じ事故が起これないように取り組みます。

**目標2** ヒヤリハットを共有し未然に事故を防止します。

### 〈約束〉

- ① ヒヤリハットを提出、各事業所で要因・対策を共有します。
- ② 施設内のラウンドを危険予知訓練として行い、改善に取り組みます。
- ③ ヒヤリハットを提出することで、スタッフの気づきのレベルをあげていきます。

**目標3** どんな災害時にでも対応ができるように、訓練を行います。

### 〈約束〉

- ① 訓練に参加できていないスタッフがいないように訓練を実施します。
- ② 備品場所、避難ヶ所を常に把握していつ、どんなときにも迅速に対応します。
- ③ 災害の事例検討を行い災害時での知識を身につけます。

## 介護力向上委員会

2020スローガン

**オリンピックイヤー！宣誓！いい介護を目指し、成長することを誓います！**

### ＜運営方針＞

介護力向上委員会は、介護保険制度の基礎知識や接遇マナーをはじめ、スタッフの介護技術の向上を図り、より良いサービスの提供を目指した学習会を展開していきます。

今年度も学習会のメインカテゴリーは、昨年に引き続き「人材育成（接遇マナー等）」「入浴介助技術の向上」「認知症対応」を中心におこないます。

業務が忙しく、なかなか外部研修に参加できないことを補えるように、社外から各専門分野の講師を積極的に招くなど、レベルアップを図ります。

また、法人の新たな取り組み（自立支援介護等）やその時々が発生した事故の再発防止学習、必要性の高い伝達講習を取り入れるなど、

柔軟な委員会・学習会とし、受け身ではなく、スタッフひとり一人が主体性を持ち、“いい介護”を提供できる人材に成長できることを目指します。

### そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 頑張る人を応援するため、お互いが応援上手となり、チーム力を高めます。

**目標2** みんな入浴が大好き！「安心・安全」な入浴を学び、心地よい入浴を提供します。

**目標3** 認知症ケアのプロを目指し、「認知症の方の尊厳を支えるケア」を追求します。

### ＜約束＞

- ① 法人、事業所の理念・目標・方針の共有・再確認を徹底します。
- ② チームケアのノウハウを学び、実践に活かします。
- ③ 言葉遣い、接遇・身だしなみマナーを身につけ、おもてなしのプロ意識を高めることを目指します。

### ＜約束＞

- ① 入浴介助マニュアルの読み合わせと見直しをおこないます。
- ② 個人に合った入浴法を提供するための検討会を実施します。
- ③ 浴槽の種類、入浴介助用具の種類を知り、操作方法の確認や実技等を交えた学習会をおこないます。

### ＜約束＞

- ① 認知症対応マニュアルの読み合わせと見直しをおこないます。
- ② 認知症の種類とその症状の特徴・経過等の知識を深めます。
- ③ 各事業所における認知症対応の事例をまとめ、発表します。また、外部研修で得た情報の共有にも努めます。

## ノーリフティングケア委員会

2020スローガン

**銅より銀、銀より金を目指し、全員で技術を磨きあげていきます**

### 〈運営方針〉

ノーリフティングケアでは身体の間違った使い方をなくし、福祉用具や福祉機器を適切に活用して介護する側の腰痛を防ぎ、介護される側（住民様やご利用者様）の身体的負担を減らすことを目的としています。そのことを理解し、おきなのだとしての目的を共有するために委員会メンバーでグループワークや事例検討を行い理解を深めていきます。

ノーリフティングケアに取り組んで3年が経過し、福祉用具使用による負担軽減効果を実感するスタッフが増え徐々に定着してきています。技術をより向上させ、定着させるために練習会を継続します。また、スタッフの技術習熟度を確保するために令和3年度には技術チェックを実施します。それに向けて今年度は技術チェック表・評価基準を作成します。

腰痛予防対策として腰痛発生状況の把握や、職場環境改善のために福祉機器の情報収集なども行います。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** ノーリフティングケアでスタッフの腰痛を予防します。

### 〈約束〉

- ① 半年に1回腰痛アンケートを実施します。
- ② 抱え上げ業務などの現状調査・分析を行い、対策や改善策を検討します。
- ③ ノーリフティングケアとして必要な福祉用具・福祉機器の情報収集・デモ実施・検討を行います。

**目標2** ノーリフティングケアを介護技術の基本として統一した安全な介護を目指します。

### 〈約束〉

- ① 学習会で実技練習を行い、習得することでケアの統一を目指します。
- ② 基本技術の学習ビデオを作成し、自己学習しやすい環境づくりをします。
- ③ 令和3年度の技術チェック実施に向けて技術チェック表・評価基準を作成します。

**目標3** ノーリフティングケアの考えを深め、一人一人に適したケア方法を見直していきます。

### 〈約束〉

- ① 委員会メンバーでグループワークを行い考えを深め、目的を共有します。
- ② 各ユニットの実施状況報告や事例検討を行い困っていることなどを話し合います。
- ③ 簡易移乗介助選択シートを活用し、各住民様に適した移乗方法の見直しを行います。

## 安全衛生委員会

### 2020スローガン

**フレー！フレー！ イキイキ職場の応援団！**

#### ＜運営方針＞

労働安全衛生法等により、法人には事業場における安全衛生管理体制が義務付けられています。安全衛生を確実なものとするためには事業者側だけでなく、スタッフ全員が安全衛生に関心をもち、協力して、健康増進、健康障害防止、労働災害の再発防止対策に取り組む必要があります。

今年度は、年間を通じて「スタッフの健康増進」「腰痛予防」「職場環境の安全」を3つの柱として委員会おこなっていきます。

住民様、利用者様の安全を第一に考え、私たちスタッフの安全と健康が二の次になってしまいがちですが、質の高いサービスの提供をおこなっていくうえでも、とても大切となるスタッフの安全と健康を守り、明るく元気にイキイキと働き続けることができる職場づくりを目指していきます。

#### そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** スタッフの「こころとからだ」の健康増進を応援します。

#### ＜約束＞

- ① 生活習慣病のスタッフが増えきており、予防に向けた学習会を実施します。
- ② メンタルヘルスに取組み、相談窓口の設置やセルフケア実践法を紹介します。
- ③ 健康増進とスタッフ交流、地域交流を目指したスポーツクラブを引き続きおこなっていきます。

**目標2** 筋力を鍛えよう！  
「腰痛にならない」対策に取り組めます。

#### ＜約束＞

- ① ノーリフティングケア委員会と一緒に腰痛予防の視点でのケアを学びます。
- ② 腰の筋肉を和らげるストレッチ体操など委員会内で楽しくエクササイズします。
- ③ 年に一回義務付けられている腰痛健診を活用し、対象者を把握。改善に向けたアドバイス等に取り組めます。

**目標3** 職場環境の安全対策に取り組む、労働災害防止に努めます。

#### ＜約束＞

- ① 介護現場を安全で衛生的・効率的に整えるための知識と意識を学びます。
- ② 介護施設での労働災害の事例を知り、安全配慮義務に努めます。
- ③ スタッフが介助をおこなう上で、転倒やつまづく要因になるものがないか、定期的に委員メンバーが巡回します。

## 行事・広報・もったいない環境整備委員会

2020スローガン

いつでも。どこでも。どんなときも。“参加することに意義がある”

### 〈運営方針〉

東京オリンピックが開催される今年、法人テーマである「応援宣言」は行事・広報・もったいない環境整備委員会に大きな役割があると考えます。行事では、すべての人が関わり、企画から実行まで、一人一人がプロデューサーであるという意識を持つことが目標の一つです。そして、住民様・利用者様が楽しく、思い出になる行事を提案・企画していきます。

広報では、引き続きSNSを活用して、おきなof杜のイメージを地域の方にも身近な施設と感じていただけるように情報発信を行います。

ブログやフェイスブックの更新とホームページ内の情報も常に最新になるように、確認を日々行なっていきます。

もったいない環境整備については、委員全員がしっかりと責任感を持ち、自事業所の環境整備で活躍することが出来るように清掃や節電に関する勉強会等を実施し、委員が環境整備に励める体制作りを応援します。

また、貫小学校々区の通学路清掃を今年度も実施し、地域の皆様の生活を応援します。

### そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 住民様・利用者様・ご家族の夢を応援します。

**目標2** 様々なお役立ち情報発信して職員・利用者様の生活を応援します。

**目標3** SDGs(持続可能な開発目標)の理念に則り、『出来るコト』から取り組みを開始します。

### 〈約束〉

- ① 「おやつ作り」「外出企画」は、住民様利用者様・ご家族様の意見を取り入れ企画していきます。
- ② オリンピック開催の今年は、施設内で屋内運動会を開催します。
- ③ スタッフ一人一人が企画者となり、一丸となって応援します。

### 〈約束〉

- ① 様々な情報を得るために、スタッフ一人一人が「ライター」になります。
- ② 施設内の出来事や行事をスピーディーに発信します。
- ③ 広報誌を「だより」だけでなく、「社内報」を作成し、スタッフ同士の距離を縮めていきます。

### 〈約束〉

- ① SDGsへの取り組み方や、清掃に関する知識を深めてもらうため、勉強会を実施します。
- ② 委員の活動に漏れ・抜けがないよう、定期的なチェックを実施します。